

# 胆嚢に異常を指摘されました。

Q 胆嚢って何をしている臓器なの？  
なまじりなるぞ？

胆嚢には、胆汁をためておき、濃縮して、食事をとるタイミングで胆嚢が収縮して胆汁を十二指腸に流すという機能があります。胆汁は肝臓で作られ、胆管という専用の管の中を流れて十二指腸に注ぎます。その途中につながつている握りこぶし大の袋状の臓器が胆嚢です。胆嚢を手術で切除してしまうと、この機能はなくなりますが、胆汁は絶えず作られ胆管を伝って十二指腸に流れますので、大きな支

障はありません。非常に脂分の多い食事を大量にとった場合に下痢をしやすくなることはあるかもしれませんが。

Q 胆嚢結石があると  
言われました。  
手術すべきですか？

胆石があっても特に問題はありません。そのままにしておいてもいいのですが、胆石があることで胆嚢からの胆汁の流れ道がふさがれ、胆嚢が収縮する際にけいれんを起こすようになります。胆嚢疝痛と呼ばれる激しい腹痛を生じることがあります。また、胆嚢からの胆汁の流れが

Q 胆嚢炎はどのように  
治療しますか？

滞ると、胆嚢内の細菌が増え、胆嚢炎を発症することがあります。そのような症状がある場合には、手術で切除する必要があります。

胆嚢炎は、胆嚢内にたまった胆汁が感染し、胆嚢及び周囲臓器に炎症が波及している状態です。手術が可能であればなるべく早く胆嚢を摘出する必要があります。手術は通常小さな穴(5~15mm)をお腹に4か所開けて行う腹腔鏡下手術で行います。

が、炎症が強い場合など開腹手術となることもあります。胆嚢炎発症からの時間が短いほど手術が、より安全かつ容易におこなうことができます。手術ができない場合には、胆嚢に針を刺して中の感染した胆汁を排出したり、持続的に胆汁を外に出すための管を入れ、抗生剤の治療を行います。胆嚢炎を起こした胆嚢は今後も胆嚢炎をきたしやすくとされており、手術が可能となった時点での胆嚢の摘出をお勧めします。ただ、前述のような保存的な治療を行った場合は、手術は難しくなることが多くなります。

Q 胆のうがんの治療には  
どのようなもの  
がありますか？

腫瘍や腫瘍の根元が広い広基性の腫瘍などは診断を兼ねて胆嚢の摘出をお勧めします。切除しない場合は定期的な検査が必要です。

Q 胆嚢に腫瘍があると  
いわれました。どう  
すればいいのでしょうか？

胆嚢の腫瘍には「コレステロールポリープ」などの良性のものや胆のうがんといった悪性ものもあります。一般的に10ミリ未満の腫瘍であれば、悪性の可能性は低いとされます。ただ、胆嚢内の腫瘍は直接組織を取って検査を行うことが難しいため、小さいものでも徐々に大きく

手術でとり切ることが可能であれば、手術が第一選択となります。ほかに抗がん剤や放射線による治療がありますが、効果は限定的です。手術は、がんがごく小さい場合は、胆嚢を切除するだけで終了しますが、がんの広がりによっては、胆嚢のついている肝臓の一部と、周囲のリンパ節の切除を行うものから、最大では肝臓の60~70%を切除する肝右三区域切除と脾臓の半分と十二指腸を切除する脾頭十二指腸切除を同時に行うような非常に侵襲の大きな手術が必要となることもあります。適切な診断と難易度の高い手術が必要となるため、肝胆膵手術の専門医が数多くの症例を治療している施設を受診することをお勧めします。



岐阜市民病院 外科  
今月の先生 佐々木 義之

○専門分野  
肝胆膵外科

○役職  
外科部長  
肝・胆・膵外科部長

○主な資格、認定  
日本外科学会指導医・専門医  
日本消化器外科学会指導医・専門医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医  
日本肝胆膵外科学会高度技能専門医

○卒業年、主な職歴  
平成10年岐阜大学医学部卒  
岐阜県総合医療センター  
岐阜大学腫瘍外科臨床講師